

📷 2月定例会のご案内

「上河さん講師の勉強会」、「勉強会のネタ」

上河講師による勉強会をしたいと思います。内容については上河さんと検討中です。

また、今年一年で行いたい勉強会のネタを募集します。わからないことはどんどん勉強会で解決して、ブラッシュアップしていきましょう！

次回定例会は

2022年 2月18日（金）19時～21時

勉強会のネタ（募集中です！）

- ・ビデオの事業継承・後継者について（赤岡）
（会員個人の場合とビズネット全体の場合含めて）
- ・ホールを借りて音声収録（菅澤）
- ・ネット配信のやり方（赤岡）
- ・後悔しない機材の選び方（脇田）
- ・ICレコーダーの設定方法（脇田）
- ・スイッチングとパラ撮影（脇田）

🏠 1月定例会のご報告

「総会」、「意見交換」

1月定例会の参加者

高橋、近藤、吉岡、佐藤、野上、赤岡、菅澤、脇田
（委任状 皆越、前田、福田）

<総会>

役員改選で、会長・会計の高橋さんが退任され、吉岡さんが新会長になりました。吉岡さんよろしくお願いたします！（詳細は吉岡さん作成の次頁「定時総会議事録」をご覧ください）

<意見交換>

主なものを紹介します

近藤「合唱編集で、2画面にして上を寄りのパン、下を引き固定にして、子供が映らない時間を無くすなどの工夫をしている」

高橋・赤岡「幼稚園や小学校の撮影で、「ドアップよりも、引きで多人数が入っているカットを増やしてほしい」という声もある」

赤岡「イベント中止時のキャンセル料について 皆さんはどうしてますか？」

高橋「集金方法で新しい良い方法はないだろうか？」

脇田「ビズネットでのLineグループを作りましょう」（高橋さんからの会員交流方法の提案を受けて）

菅澤「Windowsを11にしましたが、使いづらくてエライ目にあいました。」

佐藤「昨年買ったパソコン（約40万円！）を使わずに11か月寝かせてしまっていたが、やっと使い始めました」

上河「今年はみんなで、もっともっとブラッシュアップしたい！」

以上敬称略 文責：脇田

✍️ 会員コラム

吉岡さん「会長挨拶」

が続きます！

（文責各筆者）

定時総会議事録

令和4年1月27日 午後7時00分より、ZOOMにおいて、定時総会を開催した。

議決権のある会員総数	12名
出席会員数	9名
委任状	3通

以上のとおり会員の出席、および委任状があったので、副会長 近藤一明 は議長席につき、定時総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 役員の変更に関する件

議長は、役員全員が会則の規定に基づき、本定時総会終結をもって任期満了し退任することになるので、それらの改選の必要がある旨を述べた。立候補者は出なかったが、高橋昌一より、会長に吉岡伸次、会計に佐藤光一を推薦し、本人も承諾したので、その可否を議場に諮ったところ、これを承認可決した。

また、吉岡伸次により、副会長に近藤一明(留任)、広報に脇田昇(留任)、顧問に高橋昌一、HP担当に吉岡伸次(兼任)を推薦し、本人も承諾したので、その可否を議場に諮ったところ、これを承認可決した。

会長、広報 (HP 担当) 兼任	吉岡 伸次
副会長、監査役兼任	近藤 一明
会計	佐藤 光一
広報 (会報担当)	脇田 昇
顧問	高橋 昌一

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席役員がこれに記名押印する。

令和4年1月27日

ビデオナー・ビズネット（日本映像制作者協会） 定時総会

議長	近藤 一明
監査役	
出席役員	吉岡 伸次
出席役員	佐藤 光一
出席役員	脇田 昇

挨拶

この度、会長に就任しました、アソシネットの吉岡です。

私がこの会に入ったのは、10周年のちょっと前、私が入ってすぐに10周年の催しが行われました。

みなさんご存じだとは思いますが、私はホームページを作っていました、その中に動画を作って入れたら面白いんじゃないかと思って、この門をたたきました。

まだ、Youtubeも、ツイッターやFacebookもない時代の話だと思います。

当時は、本当に、会員のみなさん、ビデオや撮影の仕事をしていた方ばかりで、0からの私の居場所は ありませんでした。会員の先輩には、今年辞めようか、来年辞めようか、と話していたような状態でした。

当初は、運動会の撮影ができる？ってお誘いがあっても、もちろん、撮影の仕事とかはやったこともなく、ビデオは民生機の FX1（ハイビジョンの最初のモデル）で、迷惑などかけられませんから、すべてお断りしてたという感じです。

そんな中、5年くらいしてからですかね、会員のある先輩がお亡くなりになって、その方の払い下げられた業務機を買って、業務機があれば、多少のお手伝いはできるだろうと、

最初は前会長の高橋さんの、運動会の手伝いだったと思います。それから少しずつ、他の人からも手伝いを頼まれるようになって「難しいことはできませんよ」というのが枕詞で、今に至ります。

手伝いをしてきて、現場を知るようになってからは、ようやく、他の人と、撮影の仕事の話ができるようになりました。

ここ何年かで入ってきた方は、私を先輩のように扱っていますが、そうなったのは、本当に、ここ5年6年くらいの話です。

今までのビズネットは、どちらかという、みなさんの自主性を重んじていて、自分から質問をする、見学をさせてもらうとか、もちろん、それが一番重要なんですけど、私にとっては、長い目で見てもらえた先輩方がいたというのはすごく大きくて。

なので、慣れない方を、周りが、少し、引っ張り上げることをしていける、そういう仕組みはできないのかな、と思っています。

当時は、自信がなく、撮影の仕事は断っていましたが、今なら、普通にお受けできると思います。そうしていけば、ビズネットにとっても、プラスの話なのかなと、そう思っています。

最後になりますが、心に刻んでいるというか、そういうのがありまして。

知人から、何の仕事をしているの？って聞かれたときに、幼稚園や小学校の運動会や発表会をビデオ撮影して、DVD を作って売るような仕事をしてるんだと言ったときに、

「笑顔を未来に届ける仕事ですね」って言われたことがありました。

そういう視点はなかったので、ああ、そういう考え方もあるのかって。

技術も、知識も、もちろんお金も必要ですが、撮影対象や依頼者に喜んでもらう、まず、そこがないとな、と。

考えてみると、撮影の仕事って、映像制作と、私たちの記録ビデオで わかれますが、でも、笑顔を未来に届けられるのは、私たち、記録ビデオ側なんだろうなと。

テレビに向かうご家族の笑顔を思い浮かべながら、みんなに喜んでもらえるビデオを作っていきましょう。

これからも、ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。